

日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会 水化学管理分科会  
第 44 回 BWR 水化学管理指針作業会 議事要旨

日 時：2016 年 12 月 21 日（月）13:30～16：00

場 所：電力中央研究所 大手町ビル第 1 会議室

出席者：（敬称略）

委員）平野、碓井、北島、六沢、河合、中野、佐藤、山田、鈴木、浦田  
以上 10 名

配布資料

P11BWG-44-1：第 43 回 BWR 水化学管理指針作業会議事要旨（案）

P11BWG-44-2：第 67 回標準委員会へのレター

P11BWG-44-3：BWR 分析標準-コバルト 60 イオン（案）新旧比較表

議事要旨

1) メンバーの確認

委員 10 名が出席しており、決議に必要な定足数を満たしていることが確認された。

2) 議事録要旨の確認

北島幹事から、P11BWG-44-1：第 43 回 BWR 水化学管理指針作業会議事要旨（案）の説明があり、了承された。

3) 書面審査コメント対応

北島幹事より書面審査に関するスケジュールおよび対応案について説明あり。12/19～1/17 まで書面審査中。書面審査にて出たコメントについては回答案を北島幹事にて作成し、次回作業会にて議論することとなった。但し、コメント内容によっては作業会前にメールにて各委員に検討を依頼する場合がある。

4) BWR 分析標準 コバルト 60 イオン

河合委員が作成した P11BWG-44-3：BWR 分析標準-コバルト 60 イオン（案）新旧比較表の資料を用い、第 43 回水化学管理作業会からの変更箇所の審議を行い、下記修正することとなった。

- ・ 4.2.3.1 吸引ろ過装置は削除し、附属書 B の図は各測定方法（陽イオン交換フィルタ法、ろ過法）に記載する。
- ・ 6 章の構成は下記とする。
  - 6. 分析方法
    - 6.1 陽イオン交換フィルタ法
      - 6.1.1 適用する濃度範囲
      - 6.1.2 器具類

6.1.2.1 吸引ろ過装置（この章に附属書 B の図を記載）

6.1.2.2 陽イオン交換ろ紙

6.1.3 操作

操作に関しては放射性よう素に合わせて記載する。

- ・ 測定時間に関する記載は注記とする。
- ・ 附属書 A のサンプリング方法の例は標準化が困難であり本分での記載は不適切であることから、附属書のままとする。但し、表題は「サンプリング方法の例」から「サンプリング系統の例」に変更する。本件は放射性よう素、金属不純物も同じ扱いとする。
- ・ 分析方法比較表は解説に追記する。放射性よう素、金属不純物も同じ扱い

#### 5) BWR 分析標準 放射性よう素

議論した結果、下記修正することとなった。

- ・ 各分析方法で共通な器具は一般事項に記載する。
- ・ 測定時間を注釈として記載する。
- ・ 6.1.3.13 「放射線検出器」は「ゲルマニウム検出器」に変更し、説明文は「ゲルマニウム単結晶を半導体として用いる放射線検出器とする。（JIS Z4001 1994 参照）」に変更する。

#### 6) BWR 分析標準 金属不純物

議論した結果、下記修正することとなった。

- ・ **附属書 B** は 5.2 サンプリング操作に記載する
- ・ 5、6 章の構成は下記とする。

##### 5.サンプリング

##### 5.1 器具（共通する器具を記載）

##### 5.1.1 メンブレインフィルタ

##### 5.1.2 陽イオン交換ろ紙

##### 5.1.3 陰イオン交換ろ紙

##### 5.2 サンプリング操作

##### 6.分析方法

##### 6.1 蛍光 X 線分析法

##### 6.1.1 適用する濃度範囲

##### 6.1.2 器具及び装置

##### 6.1.2.1 乾燥機又は赤外線電球

##### 6.1.2.2 蛍光 X 線分析装置

##### 6.1.3 操作

操作に関しては放射性よう素に合わせて記載する。

##### 6.2 原子吸光光度計 以下は 6.1 蛍光 X 線分析と同じ構成とする。

- ・ 高周波**プラズマ**質量分析法に試料水を直接測定できることも記載する。
- ・ 6.4 分析方法の選定については解説に記載する分析方法比較表に移動する。

7) 次回水化学管理作業会は、1月30日とし、開催場所は別途連絡いただく。本作業会では書面審査コメント対応、分析標準修正版について議論する。

以 上